

治安の確保

○テロ対策

千葉港及び木更津港には、石油・ガス施設を擁するコンビナート地帯をはじめとする重要施設が数多く存在し、多くの外国船舶が出入しています。

千葉海上保安部では、これら重要施設に対する海上からの巡視警戒を実施するとともに、入港する外国船舶に関する情報を収集し、必要に応じて立入検査を実施するなど、警察、税関及び出入国在留管理局等の関係機関と連携して、テロの未然防止にあたっています。

また、「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保に関する法律」に基づき、外国船舶が自船の安全性を示すために我が国に入港する前に自船の情報について通報を行っています。この通報を受け、厳正な審査を行い、不審な点があれば立入検査等を実施し、必要があれば入港を禁止する場合があります。

【テロ対策合同訓練の様子】



○密漁の取締り

千葉海上保安部は、千葉県浦安市から千葉県館山市までの沿岸を管轄していますが、海浜は『あさり』や『ほんびのす貝』等の二枚貝が、磯場は『あわび』、『さざえ』、『いせえび』等が採れる漁場となっています。

近年、これら水産資源の漁獲量が減少しており、これら貴重な水産資源を未来に残していくため、各漁業協同組合では稚貝を放流するなど水産資源の保護培養に努めていますが、悪質な密漁行為が後を絶たない状況です。

このような状況から各漁業協同組合から強い密漁取締り要請を受け、千葉海上保安部独自で取締りを強化するほか、千葉県警察と合同取締りを実施するなど関係機関とも協力しながら悪質な密漁行為の根絶を目指し、重点的に取締りを実施しています。



【密漁された『さざえ』の状況】



【密漁された『いせえび』の状況】



【漁業協同組合員・千葉県警察・千葉海上保安部合同密漁取締り出動状況】

○密輸・密航の水際対策

入港する外国船舶には、覚せい剤等の禁止薬物やけん銃等の禁制品の密輸入を図る船員や、日本へ不法に入国しようとする密航者が乗船している可能性があります。

これらの犯罪を水際で阻止するため、外国船舶に関する情報収集、警察、税関及び入国管理局等の関係機関と連携した立入検査等の取締りを実施しています。

○違反船舶の取締り

千葉県沿岸は、貨物船による海上輸送の要衝であるとともに、余暇を楽しむプレジャーボートや水上オートバイ、漁業に勤しむ漁船など、さまざま船舶が昼夜を問わず行き交っています。

こうした状況から、千葉海上保安部では、船舶の無資格運航や無検査船舶の航行など、海難事故の発生に繋がりにかぬ法令違反を取締っています。

また、万が一、船舶による衝突など海難事故が発生した場合には、原因を特定するなどの所要の捜査を実施し、事故の早期解決及び再発防止に取り組んでいます。

○海上環境事犯の取締り

千葉から館山に至る沿岸海域には、貝類などの貴重な水産資源があるほか、のり網や定置網が多数存在し、また、海洋レジャーを楽しむため、多くの人が集まる海水浴場も複数所在しています。

このような千葉の海で、船舶からの油の不法排出、工場からの汚水の不法排出、廃棄物の投棄などが起きた場合、その影響は計り知れません。

千葉海上保安部では、このような海上環境事犯に目を光らせ、日夜取締りにあたっています。



【捜査のため海に排出された油の採取を行う海上保安官の状況】



【海に投棄された廃棄物(牡蠣殻)の状況】

海難救助

大小様々な船舶が多数行き交い、海洋レジャーが盛んな千葉の海では、船舶同士の衝突や、釣り人、海水浴客及び潮干狩りをする方による海浜事故など、多数の海難が発生しています。

千葉海上保安部では、日頃から消防や警察、地元漁業協同組合、マリーナ及び船舶代理店などの関係団体と連携し、海難事故の未然防止に努めるとともに、訓練を通じて海難救助能力の向上を図っており、事故発生の際は巡視船艇及び航空機により、迅速な救助活動を実施しています。



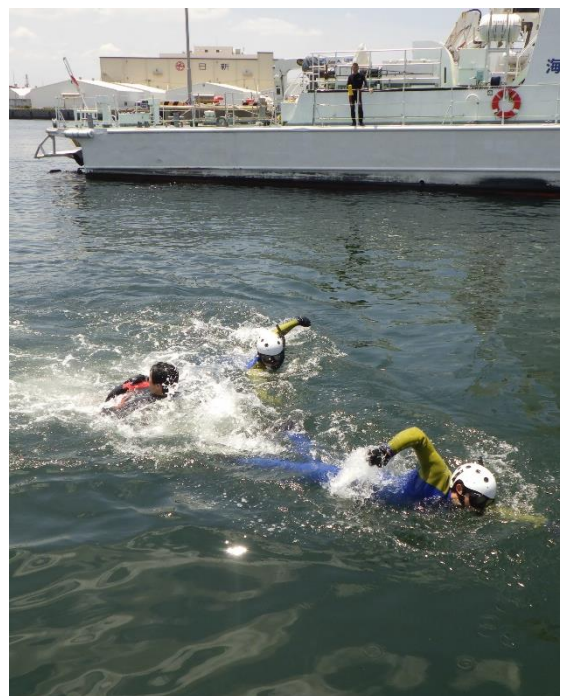
【えい航訓練】



【ヘリによる吊り上げ救助】



【負傷者搬送訓練】



【落水者救助訓練】

海上防災

千葉港及び木更津港には、多数の石油コンビナートが存在することから、油の大量流出や有害・液体物質の海上漏洩、臨海施設の火災等、大規模な災害発生が懸念されます。

これら海上災害に的確に対応するため、千葉海上保安部では、関係行政機関や民間企業と合同で防災訓練を実施し、災害発生時の対応能力向上を図っています。

また、平成9年7月、東京湾で発生した「ダイヤモンドグレース号」の座礁・油流出事故を踏まえ、各自治体、関係行政機関及び民間企業等との間で、千葉(船橋を含む)・木更津・館山の各管内に、「排出油等防除協議会」を設立し、定期的な訓練及び研修会を実施することで、災害対応にかかる連携強化を図っています。

さらに能登半島地震等自然災害が全国で頻発していることから、自然災害への備えとして自治体や関係機関との給水支援訓練や物資輸送訓練等の生活支援訓練を実施しています。



【東日本大震災における臨海部施設の消火活動】



【巡視艇による油防除訓練の様子】



【関係機関との物資輸送訓練及び給水支援訓練の様子】

海洋環境の保全

千葉海上保安部では、『未来に残そう青い海』をスローガンに、海洋環境保全活動を実施しており、毎年6月の『海洋環境保全推進月間』では、地元ボーイスカウトや海洋少年団との合同海浜清掃等の様々な活動を集中的に実施しています。

また、地元小学校への海洋環境保全教室開催に加え、平成12年から『未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール』を(公財)海上保安協会と共催しており、次世代を担う子供たちへの海洋環境保全思想の普及にも努めています。



【海浜清掃の状況】



【図画コンクール入賞作品】